

9 オシドリ

(カモ目)

兵庫県ランク:B

Aix galericulata

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:調

環境省ランク:DD(情報不足)

種の概要

北海道、本州北部では夏鳥、本州南西部、四国、九州、沖縄では冬鳥とされるが、一部で局地的に繁殖しているところがある。兵庫県では多くは主に10-翌4月に見られるが、県中北部の山地では夏期にも見られるところがある。繁殖期には、山地の溪流で生活し、森林の樹洞で営巣する。冬期は岸を林が覆っている湖や池、河川などに移動し、群れで生活する。ドングリを好んで食べる他、穀類や水生植物、小動物などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供:三谷康則

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、(明石市)、西宮市、洲本市、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、宝塚市、三木市、川西市、(小野市)、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、稲美町、(播磨町)、太子町、(上郡町)、香美町、(新温泉町) ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクに変更。
宍粟市や丹波市の山間の溪流や池では、巣や雛は確認されていないものの、夏にごく少数が観察されており繁殖している可能性がある。繁殖は極めて局地的で、個体数も減少している可能性があるため、CランクからBランクに変更した。冬季は大陸からの越冬個体群が加わるため、個体数は増加する。

保護上の留意点

繁殖地となる山間地水辺の洞がある古木とシイ、カシ類などドングリのなる広葉樹の保全、および人為圧の除去が重要。越冬地については山間地のダム湖や湖沼の堤に、人が近づけない広葉樹の群落の確保が重要。